



eラーニング 透析液安全管理責任者研修会

透析液の安全管理は臨床工学技士の重要な業務であり2008年度より「透析液安全管理責任者研修会」を開催しています。近年では日本透析医学会より「2016年度版透析液水質基準」が提示され、当会より提示していたガイドラインも「2016年版透析液水質基準達成のための手順書」に改訂し、より現場で対応できるような作業を進めてきました。また最近問題提起されている透析排水の課題についても速やかな対応を必要としています。施設の透析液安全管理者は勿論ですが現場で責任ある立場で業務している方々が受講することで施設の安全管理に寄与できるものと思われまます。多くの方の受講をお待ちしております。

後援団体：（一社）日本透析医学会／（公社）日本透析医会／日本防菌防黴学会

※本研修会は、2019年7月に行われた実講習の映像コンテンツを用いたeラーニング研修会となります。是非この機会に受講をご検討ください。

- 「血液浄化臨床工学技士認定制度（専門・認定）」に係る本研修会の取得単位は10単位です。
- 注意事項：受講期間を過ぎると視聴できません。受講期間中に全ての項目を視聴できなければ修了証は発行されません。
- eラーニングとは？
インターネットを使用した学習形態のことです。詳しい受講方法は、JSCホームページをご参照ください。

開催概要

プログラム(予定) ※ [] は講義時間

講義 1 透析液安全管理体制と透析液安全管理責任者の役割 【30分】 <small>(公社)日本臨床工学技士会 柴田 昌典 先生</small>	講義 4 透析液汚染の種類と対策 2) 化学的汚染 【60分】 (1) 透析用水作製装置に関する管理基準の解説 <small>膜分離技術振興協会 佐藤 仁一 先生</small>
講義 2 透析機器安全管理委員会の運用と役割 【50分】 <small>明理会中央総合病院 星野 武俊 先生</small>	講義 5 2016年版透析液水質基準に沿った管理方法 1) 透析用水作製工程での管理方法(原水、RO原水等) 【50分】 <small>新松戸中央総合病院 菅野 有造 先生</small>
講義 3 透析液清浄化の変遷と新たな課題(透析排水の問題) 【50分】 <small>医療法人社団誠仁会 みはま病院 内野 順司 先生</small>	2) 透析液作製工程での管理方法 【50分】 (供給装置、溶解装置、透析用監視装置、配管等) <small>聖マリア病院 小野 信行 先生</small>
講義 4 透析液汚染の種類と対策 1) 微生物学的汚染 (1) 微生物制御、バイオフィルム対策 【50分】 <small>吉田製薬(株)研究開発本部 梶浦 工 先生</small>	3) オンラインHDF等の運用と管理手順 【50分】 <small>おおうみクリニック 山本 英則 先生</small>
(2) 透析システム中の微生物検出法 【50分】 <small>倉敷芸術科学大学 楳村 友隆 先生</small>	講義 6 透析液作製の基礎と組成管理 【40分】 <small>前田記念腎研究所 茂原クリニック 江村 宗郎 先生</small>
(3) 透析システム中のエンドトキシン測定法 【50分】 <small>生化学工業(株) 相沢 真紀 先生</small>	

■ 申込期間と受講期間【各定員200名】

【11月開催】 申込期間：2019年10月1日(火)～10月14日(月)
 受講期間：2019年11月16日(土)～12月15日(日)

【3月開催】 申込期間：2020年1月15日(水)～1月28日(火)
 受講期間：2020年3月1日(日)～3月31日(火)

■ 受講料：正会員 10,000円 非会員 20,000円※

※(但し、10,000円の差額は当会が開催する講習会・研修会事業への協賛金として取り扱う)

■ 受講対象者：当会正会員、非会員(臨床工学技士・医師)

※臨床工学技士は透析技術認定士を取得または5年以上の実務経験が必要です。

■ 申込方法：当会決済システム「e-プリバド」よりお申し込み下さい。(オンライン決済)(<https://www.ja-ces.or.jp/jsc/omoushikomii/>)

◆お問い合わせ

JSCホームページの「講習会・研修会お問い合わせ」よりお願いいたします。

公益社団法人 日本臨床工学技士会 JACE研修センター(本部)

〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4 KTお茶の水聖橋ビル 5階

<http://ja-ces.or.jp/jsc/>